

「多摩振興アクションプラン（仮称）」素案に関する意見募集の結果について

1 意見募集期間

令和7年1月31日（金）から同年3月3日（月）まで

2 意見提出の状況

（１）提出された方の総数 10名

（２）提出意見の総数 15件

3 御意見の概要と都の考え方

御意見の概要	都の考え方
多摩地区の医療資源は事実上、府中市の「多摩メディカル・キャンパス」に集約されている。 南多摩医療圏では、東京都立八王子小児病院が廃止され、3次救急医療を担う日医大多摩永山病院の建て替えについても地元多摩市との交渉が不調に終わり、地域の救急医療が施設の老朽化によって崩壊しかねない事態である。 このエリアに隣接する町田市や稲城市、八王子市南部の人口は微増傾向で、今後も中核病院の必然性は高いにもかかわらず、公費による支援が乏しい日医大という学校法人が重大な責任を担う形になっている。新しい病院を設置することは人材確保も含めて大変なことと思うので、ぜひ東京都による支援と医療体制の確保、充実に努めていただきたい。	本プランでは、医療機関に対する病床の整備や病床機能の転換に要する費用の補助、医療経営の専門家による経営分析等の支援の実施や、市町村公立病院に対する運営経費の補助について記載しております。 頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。

御意見の概要	都の考え方
多摩都市モノレールの延伸については、先行ルートとされる箱根ヶ崎方面延伸ですら工事が始まっておらず、23 区内の事業と比べるとあまりにも進展が遅い印象。多摩地区の鉄道計画についてはこのほか、多摩都市モノレールの八王子ルートや小田急多摩線の相模原方面延伸の計画があるが、鉄道アクセスの向上による人口増や事業所の集積、運転手不足によるバス路線の廃止や減便問題の改善、高齢化が進む多摩ニュータウンの活性化も踏まえば、事業のメリットは計り知れない。ぜひアクションプランにも盛り込んで強力に推進していただきたい。	本プランでは、鉄道ネットワークの強化に向け、国の交通政策審議会答申において、事業化に向けて検討などを進めるべきとされた路線等について、関係者との協議・調整を加速し、調整が整った路線から順次事業に着手していくことを記載しております。加えて、バス運転士不足への多角的な対策を進める仕組みの構築も盛り込んでいます。 頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。
鉄道事業者が管理する鉄道橋については、老朽化が進んでいて、径間も狭く、防災面でも大変不安がある。ぜひ事業主体との調整を進めるとともに補助を含む支援を拡充して架け替えを進めてほしい。この中に含まれる、J R 八高線の多摩川橋梁と浅川橋梁は、東京都内を起点としているにもかかわらず単線かつ地方交通線で、駅間も長く、沿線住民が利用したくても利用しづらい状況のため、橋梁架け替えに合わせて複線化を進めていただきたい。特に、八王子市の下水道事業の東京都への一本化で不要となった、J R 八高線の線路脇に位置する八王子市北野町の下水処理場跡地付近への新駅設置によって、地元市が計画する跡地の再開発を後押ししていただきたい。	本プランでは、鉄道利用者の安全性確保のため、国と連携して鉄軌道事業者が行う鉄道施設の耐震対策を促進していくことを記載しております。 頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。

御意見の概要	都の考え方
人口減少により多摩全体の活力が低下している。デジタル商品券の発券や、各鉄道のデジタルを活用した一日乗車券の発券、スタンプラリーの開催などが地域活性化・地域経済につながる。 多摩振興だけでは力が足りないので SNS サイトを通じて、多摩の魅力や観光を発信していただきたい。	都では、これまで HP や SNS、YouTube 広告など、様々な媒体を使用し、多摩地域の魅力発信を推進しています。 また、本プランでは、多摩地域への誘客に向けた観光プロモーションの実施など地域の特色を活かした地域振興・観光振興を記載しています。 頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。
楽しく友達とかと買い物して遊べる大規模なショッピングモールをもっと増やしてほしい。 ショッピングモールには、中学生や高校生が雨の日でも遊べる建物を合わせて作ってほしい。 こういう場所にアクセスしやすくなるように、道路や鉄道をもっと充実させてほしい。 そうすると、多摩地域はもっと活性化すると思う。	都では、これまで都営住宅の建替時の創出用地を活用し、民間の創意工夫をいかしたまちづくりを進め、生活利便施設や、地域の居場所となる交流施設等の整備を推進しています。 また、本プランには、生活の利便性を向上させるため道路ネットワークの強化について記載しております。 頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。
最近夏が暑すぎるのでせっかくの夏休みでも外で遊ぶことができず、時間を有意義に使うことが難しいと感じている。地域の体育館も予約制で、使える日や時間が限られている。季節や気候に関わらず、だれもが集まって遊ぶことができる施設が多摩地域のもっと色々なところにあると、地域の魅力が高まってより住み続けたいと感じる地域になると思うので、是非そういった遊び場の整備を進めていただきたい。	本プランでは、プレーパークやボール遊び場など、地域資源を活用した屋外又は屋内の遊び場整備に取り組む市区町村への支援を記載しております。 頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。

御意見の概要	都の考え方
多摩地域の振興をしたいのなら、多摩地域にもっと企業を呼び込むべき。求職活動をしていても、条件が合致する会社は都心部ばかりで、時間の制約がある子育て中の人はせっかくの語学などのスキルがあっても、通勤時間が長くなってしまったため、応募を断念せざるを得ないことになってしまう。多摩地域にいろんな企業を呼び込んで、色々な働く場を増やしてもらいたい。	本プランでは、イノベーションの創出、企業の成長・経営の安定や地域産業の振興に向けて、多摩地域の特性を活かしながら、スタートアップの創出や中小企業への支援、ものづくり産業の振興などに取り組んでいくことを記載しております。 また、テレワークの推進等により、全ての人が生き生きと働くことができる環境の整備に取り組んでいます。 頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。
近所には、子供が独立して高齢者だけで住んでいる人も多くなっているので、みんなが集まれる場を多く作って欲しい。 それと、自分もそろそろ自転車に乗れなくなってしまう。友達も同じような人が多い。高齢者が近所を移動しやすくするように取り組んで欲しい。	本プランでは、移動・交流・生活を視点に、高齢者が安心して暮らせる環境づくりとして、移動しやすい環境の整備や、交流の場の創出、安心して生活できる環境づくりの主な取組を掲載し、高齢者がそれぞれの状況に応じて安心して暮らせる環境づくりにつなげていく方向性を記載しています。 頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。
多摩都市モノレールの箱根ヶ崎方面延伸について、整備完了まではまだ相当の期間がかかると思うが、プランには、延伸部の開業も見据え、新たな暮らし方・働き方のモデルとなる魅力あふれるまちづくりを推進との記載があり、東京都の今後の具体的な取組に期待する。 将来にわたり、同路線の維持が可能となるよう、一定の利用客が定着するような、沿線部での魅力あふれるまちづくりをしていただきたい。	本プランでは、多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸部沿線において、各駅の特徴を生かしながら沿線地域一体で広域的なまちづくりを地元市町とも連携して取り組み、延伸部の開業も見据えた、新たな暮らし方・働き方のモデルとなる魅力あふれるまちづくりの推進について記載しております。 頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。

御意見の概要	都の考え方
多摩地域を魅力的なものにするために、公共交通機関の発達に、不可欠であると感じる。 各取組も非常に重要だが、その基盤となる公共交通機関の発達にも力を注いでいただきたい。公共交通機関が発達することにより、多摩地域の居住者が増え、より多くの人たちがこの取組を活用していただけるものだと感じる。	公共交通機関の発達については、鉄道ネットワークの強化に向け、多摩都市モノレールの延伸、中央線の複々線化などに係る、関係者との協議・調整を加速し、調整が整った路線から順次事業に着手していくことを記載しております。加えて、誰もが移動しやすい利便性の高い都市の実現に向け、地域公共交通の充実・強化を図っていくことを盛り込んでいます。 頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。
アンケートの中で未来に残したいものとして、農業が入っている。取組の一つである東京農業アカデミーを活用した若い方が、新規就農していると聞いている。ぜひとも今後も続けていただきたいと思う。これが多摩地域の農業の継承に繋がれば嬉しいと感じている。	本プランでは、就農段階に応じて農業を学べる様々な研修のほか、新規就農者の増加に向けた雇用就農の推進や農地の保全など、東京農業の振興に向けた施策の強化に取り組むことを記載しております。 頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。
多摩地域内においても、エリア別の特性のとおりエリア毎に抱える課題が異なるため、事業対象を「多摩地域」と広く設定するのではなく、エリアを限定した事業展開（例えば、西多摩エリアは移住定住事業、北多摩南部エリアは農地・農業者支援など）の検討も必要ではないかと考える。	多摩地域といっても、地勢、人口動向、土地利用、産業構造など、地域によって特性や課題は様々であるため、本プランでは、多摩地域を5つのエリアに区分し、その特性をまとめております。 頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。
スケールメリットを活かした広域連携は今後より求められると考えられるため、広域連携のきっかけとして同じ課題を抱える市町村間のマッチングなどの東京都による後方支援や伴走支援も必要と考える。	都では、多摩地域における多様な主体との連携活動を促進するため、複数の市町村と民間企業、大学及びNPO法人等の多様な主体との連携による広域的な地域課題の解決や、新たな価値の創造など、先進的な取組を支援しています。 頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。

御意見の概要	都の考え方
都立公園にカフェやキッチンカーがあれば、子供連れでゆっくり過ごせるので良いと思う。また、公園の中に3×3バスケやスケボーなどのニュースポーツがあれば、子供が集う活気のある公園になると思うので、整備する時に考慮をして欲しい。	本プランでは、民間活力を導入した都立公園の多面的な活用による賑わいの創出推進や、プレーパークやボール遊び場など、地域資源を活用した遊び場の整備に取り組む市区町村への支援について記載しております。 頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。
数年前と比較すると、新青梅街道の用地買収が大きく進み、街並みが大きく変わっていることで多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面の延伸が加速していることを実感している。 一方で、人口の減少や高齢化は避けられない問題であり、今後のまちづくりのあり方は既存の形とは異なる形で進めていく必要があると考える。 東京都には、区部・多摩地域・島嶼地域と様々な属性の自治体があり、様々な地域で様々な取組を進めてきた東京都が培ってきたノウハウを新しいまちづくりを進めていく上で遺憾なく発揮していただきたい。 また、地元自治体の意見を聞きながら進めていることと思うが、東京都がリーダーシップを発揮し、ハード・ソフトの両面において市町村ごとのまちづくりではなく、一体的（広域的）なまちづくりが進んでいくことを望む。	少子高齢化への対応やまちづくりなどの課題に対する施策の効果を高めるためには、都と市町村が緊密に連携して共に取組を進めていく必要があり、本プランでは、多摩振興に資する約500の都の事業をとりまとめ、都と市町村が連携し、取組を着実に推進していくことを記載しております。 また、「多摩のまちづくり戦略」を推進し、ハード面の取組に加えソフト面からも地元自治体のまちづくりを支援するとともに、広域的なまちづくりに取り組んでいきます。 頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。

※ 頂いた御意見につきましては、趣旨を損なわない範囲で要約をしております。